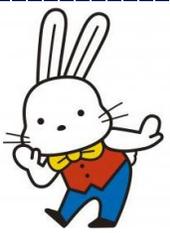


# 第4回「福島市中央地区 教育構想検討会」

令和6年7月26日(金)

福島市教育委員会



## 【教育長あいさつ】

【委員の皆様からの声から】

「質の高い学び学びの提供」と「多様性を認め合う」が大切なキーワード

質の高い学び  
って？

多様性を認め合うっ  
てどうするの？

教えてもらいましょう！

◇鎌倉市教育委員会教育長 高橋 洋平 様

文部科学省に入省後、福島県教育庁教育総務課長及び企画調整部企画調整課長としてもご活躍し、福島県の震災復興にも従事。

鎌倉市では、一人1台端末を活用した個別最適な学びや、企業・大学等との連携による学習等を推進。

来年度4月に開校する鎌倉市初となる学びの多様化学校の設置に向けて、ご尽力中。

◇白石市立白石南小・中学校長(通称白石きぼう学園) 我妻 聡美 様  
石巻市須江小学校から教員をスタートし、宮城県川崎町教育委員会派遣社会教育主事、加美町立宮崎小学校教頭、大河原教育事務所指導主事を経て、現職。  
現在、東北では「初」となる「学びの多様化学校」の校長先生として、「子どもたちが自分のペースで過ごし、来たら楽しい学校づくり」に日々取り組み中。

前半: パネルディスカッション形式で実施

お二人からの話を参考にしながら

【協議】「これからの福島市に必要な教育について」

○「学力の向上」と「不登校の児童生徒の増加」を踏まえ、中央地区ならではの学校とは？

○「本市の先導的なモデル」とはどのような学校？

# 【パネルディスカッション】

## 〈談論1〉

### 「これからの小学校教育の在り方」

鎌倉市教育委員会教育長 高橋 洋平 様



## 〈談論2〉

「学校らしくない学校とはどのような学校か」

・学びの多様化学校とは

白石市立白石南小学校 白石南中学校長 我妻 聡美 様



【協議】「これからの福島市に必要な教育について」  
～先導的なモデルとなるような教育の在り方～

【協議の論点について】

- 学力の向上、少子化時代における質の高い教育について
- 不登校児童・生徒への居場所づくりや学びの保証について

## ○【協議の進め方】

- ・班ごとに分かれての協議(班については、要項を参照)
- ・進行と発表は、教育委員会事務局が行う。
- ・協議内容について、付箋に自信の思いや意見等を記入する。(5分間)
- ・付箋に記入した内容を一人ずつ発表しながら、台紙に貼り、思いや意見等をまとめる。
- ・班ごとに協議内容を発表し、思いや意見等の共有を図る。